

はまなす句会（一月二五日）

（一一九回）

大寒にたしなめられて籠りけり

圭二

床の間に吉書掲げて幸願う

菊枝

うすら日やけなげに咲いて寒桜

由美子

こもごもの思いつのりし除夜の鐘

久子

北風や野ざらしにあり道祖神

克司

思うことあれもこれもと暮早し

玲子

賀状見る名前と顔が重ならず

則子